



飛騨っ子



令和6年12月13日発行 NO9
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職：水口 悟
 TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
 E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

心の居場所と絆づくりの場 2

< 通信【飛騨っ子】 >

◇ 生徒指導連携強化委員会・家庭教育推進会議 主催：飛騨教育事務所・飛騨県事務所
 ○期日：令和6年11月6日(水) ○会場：飛騨市立古川中学校 ○内容：全体会・授業参観・G交流

○テーマ 「チーム飛騨」で、すべての子に「居場所と絆」をつくる！～
 「あったかい言葉かけ運動」の推進を通して～
 ○趣 旨 ①問題行動や不登校の未然防止について危機意識をもつ
 ②家庭教育力の向上

<主な日程> ○全体会1 趣旨の説明
 ○授業参観 (全学級公開)
 ○全体会2 生徒と参加者との交流 (6G)
 ○全体会3 家庭教育推進 指導・講評



< 生徒さんたちとの交流 >

参加者が子どもたちの「心の居場所」と「絆づくりの場」をどう
 つくり出していくとよいのかを考える上で、授業の参観はとても貴
 重な機会となりました。さらに、全体会2の前・後期生徒会役員の
 生徒の皆さんが6グループに参加し、飛騨地域の様々な立場の
 大人と交流する機会は、生徒にとっても大人にとっても、大きな刺
 激となりました。



< 家庭教育についての現状 >

専門職という立場から、生徒さんたちが「SOSを相談できると
 ころをどのようにつくっているのか」を知りたくて質問をしました。

Q) 悩みや不安な事があったときに、家の人に相談しますか？

それとも友達ですか？

A1) 私は友達です。A2) 私はやっぱり親には相談しにくいです。

A3) 私は、妹に相談します。

特に思春期の子どもたちにとっては、家族のために一生懸命
 に働いている、一番心配させたくない、悲しませたくない保護者
 には相談しにくいのが本音なのではないでしょうか。グループの交流が

進むにつれ、テーマにあるすべての子どもに「心の居場所」と「絆づくりの場」をどうつくりだすのかを考えさせられ
 ました。すべてのグループの参加者皆さんは、真っすぐに自分の考えを語る中学生に前のめり。頼もしい！私たち
 大人も頑張らなければ！そんな表情が滲み出ています。

交流の最後に生徒さんが発言した内容がとても印象的でした。「大人の皆さんが地域の子どもたちをよく見て
 いて考えていること、人と人との関わりを増やそうとしていることを全校のみんなや先生方に伝えていきたい。生徒
 会としてそうした機会をつくっていききたい。そうすれば、大人をもっと頼ってよいことが伝わり広がると思う。」

<参加者の感想>

- ・初対面の大人の前で自分の意見をしっかりと持ち、素直な気持ちを伝えてくださいました。自分は誰かの見本となるような大人ではありませんが、今後「あんな人いたな」「話、面白かったな」と何かの折に思い出していただけたらなあ・・・と思いました。
- ・行政の立場として保護者や子どもの頼れる相談相手でいられるような仕組みづくりを推進したいと思っています。特に「教委 ⇄ 福祉 ⇄ 保健」と、この3つのネットワークを活用したいと思います。



◇ 古川子育て支援センター ～ おはなしパンダ ～ 家族の大切さ 基本的な生活習慣

○期日:毎月第4木曜日午前11時～午前11時30分 ○場所:古川子育て支援センター

○対象:未就園児 ○主催:子育て応援課



< 自己紹介をしましょう >



< パネルシアター >



< 森の中へ散歩しに行こう >

・飛騨市の子育て支援センター

飛騨市内には、4つの子育て支援センターと2つの子育てステーションがあります。

古川子育て支援センターは、未就園児をもつ保護者を対象に毎日(日を除く)午前9時～11時30分、午後1時～3時30分に開設しています。(第2.4土曜日は午前のみ)



・おはなしパンダのみなさん

令和5年4月より、有志3人が孤立しがちな乳幼児の保護者を支援するための活動を始めました。古川町子育て支援センターには、毎月第4木曜日に手遊び・リトミック・パネルシアターなどを通して、子どもと保護者の居場所を提供しています。

メンバーの方が、日頃、お孫さんと接する中で「孫が〇〇なことを覚えて入園するといいな。」と思い、元保育士の経験を活かしながら内容を工夫し取り組まれています。

入園は、子どもも保護者も集団生活に飛び込む「最初の一歩」になります。スモールステップする機会は大切です。

開始時刻の音楽に合わせて、参加者皆さんが協力しそれまで遊んでいた遊具を端に寄せ、真ん中のスペースで「お楽しみ会」が安全に楽しく進むように準備をします。

30分の時間の中には、工夫を凝らした「お楽しみ」が満載です。パネルシアターでは、音楽に合わせて物語が始まり、2人の愉快的トークにより物語が深まっていきました。参加した保護者皆さんは、わが子と一緒に喜んだり驚いたり音楽に合わせて身体をゆすったりと、親子ともに心地よいスキンシップを繰り返していました。

おはなしパンダの方が「始めたころの参加者はほんの少しかったけれど、今は毎月のルーティーンとなり、参加者が増えています。」「参加者皆さんが協力し合う姿も回を重ねるごとに当たり前になってきたようです。」と、嬉しそうに話してくださいました。そして、「月1回の『お楽しみ会』は、準備も含めて私たちの生涯学習になっています。大変だけど楽しいです。」と、付け加えられました。

<子育て応援課 担当者から>

Q. どういう経緯で、おはなしパンダさんによる「お楽しみ会」が始まったのですか？

A. おはなしパンダさんから、「孤立しがちな乳幼児をもつ保護者の支援をさせてほしい」そのため「毎月1回交流会を開催させてほしい」とのご依頼があり、担当課と連携させていただき運びとなりました。

Q. おはなしパンダさんと参加者皆さんへの思いを聞かせてください。

A. 皆さんから「参加して楽しかった」などの声をいただいております。このようなイベントをきっかけに保護者同士の交流も増えています。今後も、市民全員で子育てができる環境が築き上げられていくと良いと思います。

◇ 城山児童センター × 煥章館（高山市図書館）～なかよしクラフト～

○期日：毎月第1木曜日 午前10時30分～11時30分 ○主催：城山児童センター ○場所：煥章館



高山市内には5つの児童センターがあります。その1つが城山児童センターです。このセンターは、煥章館（高山市図書館）まで歩いて10分程度の距離にあります。そのよさを上手く活かし、毎月1回の親子工作の時間を読み聞かせの時間（午前10時30分～11時）に続き開催しています。



< 読み聞かせ ごんべいさんの会 >

最初に読み聞かせを担当しているのは、地域のボランティア団体のおはなしネット・ことだま ごんべいさんの会の皆さんです。担当の方が「親さん同士が友達になっている姿が嬉しい。」また「幼い頃によく来館していた子が小学生になって来館し、今度は自分が幼い子に『大きなかぶ』を読んで聞かせている姿に接し、子どもたちの成長を感じる事が嬉しい。」と話してくださいました。

読み聞かせが終わると、ごんべいさんの会の皆さんも一緒になって、なかよしクラフトが始まります。城山児童センターの職員が準備してきた今月の工作の材料を1人分ずつ手渡していきます。



< 10月 なかよしクラフト >



「まず、この紙をくしゅくしゅっとして丸めます。」と職員さん。とても柔らかい紙は安全で、紙を丸めることは手や指の運動を兼ねています。その手ざわりや一枚の紙が丸い形に変化するのも楽しいです。保護者の方がお子さんと一緒に安心して取り組めるように各パーツを準備されていることが素晴らしい。

途中から参加しても途中で抜けてももちろん大丈夫。その時々の子どものペースに合わせて参加できるゆるい関係が心地よい居場所となっています。



<11月 なかよしクラフト>



<参加者の感想>

私は城山児童センターでこの情報を知りました。そして、ここで今の友達（相棒）ができました。私たちの年齢も一緒に、子どもの誕生日も偶然一緒なんです。彼女は私の相棒です。毎月楽しみに来館しています。

<城山児童センター職員の感想>

なかよしクラフトは、城山児童センターを知っていただくことと簡単な制作を通して親子で触れ合いながら、楽しい時間を共有することを目的に行っています。ママさん同士の交流が見られたり親子で楽しそうに制作したりとあたたかい雰囲気の中、私たち職員にとっても楽しくほっこりする時間となっています。

<煥章館職員の感想>

なかよしクラフトを楽しみに来てくださる親子が増え、おはなし会も賑やかになって大変ありがたいです。飲食できるスペースもあるので、工作の後も親子でゆっくり過ごしてもらえたらと思います。

家庭向け編

ごみ
共家事・
共育
キャンペーン

納得してる? // 我が家の // 家事・育児分担



共家事・共育チェックシートを使ってみよう!!



大切なのは
自分とパートナーがどちらも犠牲にならず、
お互いが納得する分担を目指すこと。
チェックシートを使って家事・育児を見える化し、
家庭の「今」と「これから」を共に考えよう!

共家事・共育
チェックシート



こちらから
ダウンロード

監修：本村尚雄 監：岐阜県仕事と家庭の両立支援アドバイザー / 社会福祉協議会



ごみ共家事・共育キャンペーンは
「企業向け編」と「家庭向け編」の両輪で進行中。
キャンペーンサイトは左記2次元コードから。

詳しくは裏面をCHECK!! >>>

主催：岐阜県 後援：岐阜労働局

<https://haakuminowa.jp/campaign-households/>

- 帰宅後、このチラシを見せながら「ちょっとやってみない?」と旦那さんに尋ねると「どうせ責められるんでしょ。」とネガティブ発言。笑 わが子はまだ1歳になったばかり。現在は未満児保育に預けています。両親ともに共働きをしています。裏面の要領で、順番に二次元コードをかざし「家事+育児編全20問」に挑戦してみました。
- 1つ1つの設問に、「これはあなたがよくやってる」「これはお互いにやってるよね」「へえ～、家事・育児って、そんな仕事もあるんだね」などなど会話が弾みました。



ともかじ

ともいく

共家事・共育チェックシートの使い方

1 | 自分にあったチェックシートを選ぼう

チェックシートは「家事編」「家事+育児編」に分かれています。

家事編 全10問



家事+育児編 全20問



2 | 直感で現在の家事・育児の状況をチェック!

家事・育児分担の偏り具合をチェックしていきましょう。気付かないうちに誰かがやってくれていた「名もなき家事」も見えてくるかも!?



たとえば…/
気づかないうちに
生活用品が補充されてない?



たとえば…/
子どもの持ち物準備は
なぜかいつも自分



たとえば…/
「何でもいい」と言われても
献立考えるのって結構大変

3 | 診断結果を確認してみよう

全ての設問に答えるとあなたの家庭の分担タイプが診断されます。タイプに合わせたアドバイスも!

回答おつかれさまでした!
あなたは「ワンチームで家事
と育児実践」タイプです



4 | 分担について話し合い、チャレンジしよう

診断結果を基に、
家族みんなが納得できる分担を考えてみましょう。
得意・不得意も考慮して取り組みやすいところから始めましょう。



5 | さらに深掘りしたい家庭は 上級編(PDF)にチャレンジしよう

問数の多いチェックシート(上級編)もご用意。
よりお互いの理解を深めたい、という方は
ぜひチャレンジしてみてくださいね。



キャンペーンサイト

共家事・共育チェックシート
家事編 上級

性別別の得意不得意のアンケート結果をもとに作成した、家庭の得意不得意を把握するためのチェックシートです。チェックシートを答えて得意不得意を把握し、家族間で話し合ってください。

項目	得意	不得意
1. 洗濯		
2. 掃除		
3. 調理		
4. 子どもの持ち物準備		
5. 子どものお迎え		
6. 子どものお風呂		
7. 子どものお食事		
8. 子どものお風呂		
9. 子どものお食事		
10. 子どものお風呂		
11. 子どものお食事		
12. 子どものお風呂		
13. 子どものお食事		
14. 子どものお風呂		
15. 子どものお食事		
16. 子どものお風呂		
17. 子どものお食事		
18. 子どものお風呂		
19. 子どものお食事		
20. 子どものお風呂		



ぎふ共家事・共育キャンペーン運営事務局

委託先: 岐阜新聞社営業局

TEL 058-264-1158

FAX 058-263-7659

MAIL tomokaji-tomoiku@gifu-np.co.jp

- 項目が全て終了したところで、必要事項を記入し送信ボタンを押しました。少し待っていると、「あなたのご家庭についての返事(結果・分析)」が送られて来ました。緊張! 結果を見ると「協力できていますね」というお互いに納得のいく内容でした。嬉
- 「いつも、ありがとね」と感謝の言葉をかけ合うことができました。とてもよい時間となりました。お互いに行けるときもできないときもあるのですが、可愛いわが子への気持ちを理解しながら育てていこうと思います。(飛騨県事務所内 職員)